

寄稿

駆け昇る龍の如く

小田原市長 加藤憲一

今年も残すところ1週間となりました。市政を預かる者として振り返るとき、余りに様々な出来事が起きた、混沌と共に稔り多き一年でした。

東日本大震災は、現代社会が築いてきた暮らしや経済の在り方を、「いのち」や「絆」、更には「持続可能性」という視点から根本的に自問する機会を与えてくれました。同時に、これまで小

田原が目指してきた「持続可能な市民自治のまち」という方向性に間違いがないことが明らかになりました。震災に由来して突発的に発生した課題は山のようにあり、その対応は困難かつ膨大な作業を伴いましたが、津波避難計画づくりに見られるように、職員はもとより、実に多くの市民の皆さんが主体的に力を発揮して

市役所において複数の不祥事が発覚、市民の皆さんからの信頼を大きく損ねたことは、極めて残念かつ悔しい出来事でした。しかし、落胆するだけでなく、この機を捉え根治策と市役所の体質改善に徹底して取り組み、以前よりも盤石な信頼関係を築くよう、職員一同気合が入っています。まちづくりの新たな枠組みとなる新総合計画が4月にスタート。ケアタウンや環境再生など市民の皆さんと協働で課題解決を目指す様々な取り組みが進展。今後の自治の基本単位となる地域コミュニティの活動も活発化。無尽蔵プロジェクトなど民間の皆さんによる



かとう けんいち

1964年小田原生まれ。小田原高校、京都大学法学部卒。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、農業、オービックビル事務局長、有限会社あしがら総研代表などを経て、現在小田原市長を務める。妻と子ども2人の4人家族。

私が変わる・小田原が変わる
おだわらを拓く力
(加藤けんいち後援会)
小田原市栄町2-13-1-2F
TEL.0465-21-5260
(月・水・金 10:00~17:00)
<http://www.katoken.info>

新しい年は、自治基本条例の施行からスタート。「市民の力で未来を拓く希望のまち」の具現に向け、龍が空に駆け昇つてゆくが如く、「オール小田原」でまちづくりを進めていきたいと思います。